

製品名: CRM1 (アセチル Lys568) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06179**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	アセチル化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	125kDa

抗原情報

遺伝子名	XPO1
別名	XPO1; CRM1; Exportin-1; Exp1; Chromosome region maintenance 1 protein homolog
遺伝子 ID	7514.0
SwissProt ID	O14980
免疫原	K568 のアセチル化部位周辺のヒト CRM1 の内部領域から得られた合成アセチルペプチド。

背景

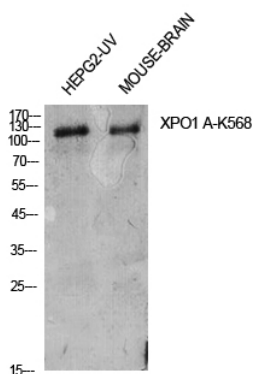
この細胞周期調節遺伝子は、ロイシンリッチ核外輸送シグナル (NES) 依存性タンパク質輸送を媒介するタンパク質をコードしている。このタンパク質は、特異的に Rev および U snRNA の核外輸送を阻害する。サイクリン B、MPAK、MAPKAP キナーゼ 2 の局在

を制御することにより、いくつかの細胞プロセスの制御に関与している。このタンパク質は、NFAT および AP-1 も制御する。[RefSeq 提供、2015 年 1 月]、機能:ロイシンリッチ核外輸送シグナル (NES) を持つ細胞タンパク質 (カーゴ) および RNA の核外輸送を媒介する。核内では、RANBP3 と連携して、標的タンパク質上の NES および活性 GTP 結合型 (Ran-GTP) の GTPase RAN に協調的に結合します。この複合体の核膜孔複合体 (NPC) へのドッキングは、ヌクレオポリンへの結合を介して媒介されます。核輸出複合体が細胞質に移行すると、複合体の分解と Ran-GTP から Ran-GDP への加水分解 (それぞれ RANBP1 と RANGAP1 により誘導) により、輸送体が輸出受容体から放出される。核輸出の方向性は、細胞質と核の間での Ran の GTP および GDP 結合型の非対称分布によって決まると考えられている。カハール体から核小体への U3 snoRNA 輸送に関与する。TMG キャップを持つ後期前駆体 U3 snoRNA に結合。HIV-1、HTLV-1、インフルエンザ A などいくつかのウイルスは、これを利用してスプライシングされていない、または不完全にスプライシングされた RNA を核外に輸出する。HIV-1 Rev および HTLV-1 Rex タンパク質と相互作用し、その核輸出を媒介する。HTLV-1 Rex の多量体形成に関与する。、その他:XPO1/CRM1 核外輸送阻害因子であるレプトマイシン B (LMB) の細胞標的。、PTM:DNA 損傷時に、おそらく ATM または ATR によってリン酸化される。、類似性:エクスポーチンファミリーに属する。、類似性:1つのインポーチン N 末端ドメインを含む。、類似性:10 個の HEAT リピートを含む。、細胞内局在:核質、カハール小体、核小体に局在する。核/核小体と細胞質の間を往復する。、サブユニット:RNUXA/PHAX、NCBP1、NCBP2、RAN、XPO1、および m7G キャップ RNA を含む U snRNA 輸出複合体に存在 (類似性による)。KPNB1、RAN、SNUPN、および XPO1 からなる核外輸送受容体複合体の構成要素。SNUPN、RAN、XPO1 との三量体輸送複合体を形成する。RANBP3 および RAN との核輸送複合体を形成する。NMD3、RAN、XPO1 との 60S リボソームサブユニット輸送複合体を形成する。DDX3X、NMD3、NUPL2、NUP88、NUP214、RANBP3 と相互作用する。また、HIV-1 Rev や HTLV-1 Rex など、RNA の核輸送に関与するいくつかのウイルスタンパク質との複合体を形成する。インフルエンザ A 核タンパク質と相互作用すると考えられる。エプスタイン・バーウイルス BMLF1 と相互作用する。、組織特異性: 心臓、脳、胎盤、肺、肝臓、骨格筋、膵臓、脾臓、胸腺、前立腺、精巣、卵巣、小腸、結腸、末梢血白血球で発現する。腎臓では発現しない。、

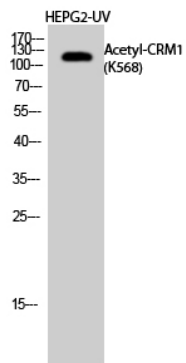
研究分野

シグナル伝達

画像データ



アセチル CRM1 (K568) ポリクローナル抗体を用いた HepG2-UV マウス脳細胞のウェスタンブロット解析。抗体は 1:500 に希釈した。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



アセチル CRM1 (K568) ポリクローナル抗体 (1: 500 希釈) を用いた HEPG2-UV 細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1: 20000 希釈。